

2008 年度

科目名 総合演習Ⅰ	対象学科・学年 教育教福1回生	担当者 植條 勝子
授業テーマ 『聞く』と『聴く』とはどのように違うのか		
授業の概要と目標 聴覚には音聴と音楽聴があり、特に音楽聴は歌ったり演奏する際に重要なものである。音・音楽を『きく』という観点から捉え、『きこえ』の構造を探ることから、音・音楽の原点を考える。分析結果から明らかになったことを、音楽活動を通して再認識する。		
評価方法 レポートと課題に取り組む態度とにより評価する		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 音聴・音楽聴とは何か 2. 聴くことの意義 3. 「音」と「耳」について関連する文献、資料を収集する 4. 資料をまとめて発表する 意見交換 5. 「きこえ」の仕組みと音の捉え方 6. 音の要素、音楽の要素とは？ 7. 音感について 8. 音・音楽の人への影響を調査する 9. 調査結果の発表 10. 結果の分析 11. 「聞く」と「聴く」との違い 12. 音楽活動との関連 13. 音楽活動による音楽聴の再認識 14. 音楽活動による音楽聴の再認識 15. まとめ（レポート提出）		